

# ねそ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成18年7月号

## 美山町萱葺の里・長浜市黒壁スクエア視察研修に参加して

去る7月2・3日、合掌財団主催の視察研修に、守る会の会員をはじめとする19名が参加いたしました。視察地の京都府南丹市美山町北区は、平成15年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区で、50戸余りの入母屋型の萱葺家屋が点在しています。滋賀県長浜市黒壁スクエアは、明治期に建てられた洋風造りの黒壁土蔵建造物の保存をきっかけに、第3セクター黒壁を立ち上げ商用地としての町づくりに成功した地区です。いずれも白川の文化財保存と観光の在り方を考える上でとても価値ある視察場所であったと感じています。それに加え今回の視察に、5名の女性陣に参加いただけたことも意義ある研修でした。そこで今回の研修レポートは、参加された女性陣のご意見を掲載させていただくことにしました。さっそく4日にお集まりいただき、井戸端会議をしていただく中から、女性の視点からみた感想や課題提起を以下の5点にまとめさせていただきました。

**おもてなしの心の大切さ！！**・・・美山の方々の対応には、自分たちの故郷を慈しみ誇りに思う心が感じられました。故郷のよさに自信をもちおごることなく語る姿や来てくださった方への感謝の気持ちが伝わってきました。でも、それは一昔前の白川にもあった心であると感じました。白川が失いかけているよさが美山にありました。その心の変化は、訪れる観光客の膨大な量によって変わってきたのかもしれませんが。一部の心ない観光客のマナーに疲れはて対応が粗野になっているのかもしれませんが。しかし、観光立村をめざす白川はたくさんの観光客を必要としているのです。その観光客を引き寄せるには、満足感やまた訪れたいという気持ちをもって帰っていただくことが大事なのではないでしょうか。その基盤となるのが、おもてなしの心であり、真心で接する心であると感じました。

**美しい景観を永遠に！！**・・・美山町の美しさが印象に残りました。おとぎ話に出てくるような萱葺屋根のこぢんまりとした山村風景。清らかな川が流れ、田畑もきれいに手入れがなされています。タバコの吸い殻やゴミの投げ捨てもなく、荒れた田畑がなく休耕地にも茅や美しい花が植えられていました。お年寄りの多い地域で人の手が回るとはいえ、この景観は見習うところが多く、人と自然の融合を感じました。確かに白川のほうが活気があります。みんなが忙しく働いています。しかし、白川の素晴らしさである景観を維持する努力をもっと意識する必要性を感じました。村民一斉清掃も展開しています。組の人手による草刈りや整備も行っています。個人的にゴミ拾いを継続している方もみえます。しかし、もっと集落内をみんなの手できれいにする活動が必要なのではないでしょうか。合掌屋根の葺き替えが「結」であるように、景観保全にも「結」の精神を広げていきましょう。



【同じ萱葺きでも違うんだなあ～！！】

**地場産振興・お米のブランド化！！**・・・2日目朝に立ち寄ったお店「ふらっと美山」では、新鮮な野菜とお店の方々の活気ある姿が印象に残りました。JAの空き店舗を利用し地元住民が出資者となり立ち上げた有限会社で、地域の特産品の販売をしています。お店と生産者が協働で地域を盛り上げていく気運を感じました。社長さんのお話の中に「農業生産物の中で高くても売れるのがお米である」という言葉がありました。すでに白川でも白川郷のネーミングを生かしたお米が出ていますが、大きな流通にまではいたっていません。荻町地区の水田休耕の原因の一つが米の安さにあります。しかし、

世界遺産白川で作ったお米、低農薬、有機肥料、天日干し、限定品などの付加価値をつけることで、白川のお米が高く売れるとしたら、観光客にも喜んでいただけ、景観保全にもつながり、山村集落のめざす観光産業としての道が一つ開けるのではないのでしょうか。また、本物志向の観光客が増えている中、その土地ならではの土産、地元の素材にちょっと手をかけた食べ物の開発が必要なのではないのでしょうか。

**文化の保存と継承を！！**・・・長浜市は文化財の保存を契機に商店街の活性化に成功しました。その原点となる考えは、地域の歴史性や文化の伝承を大切に活動した。ガラス工芸などの新しいものを取り入れつつも、その基盤には、地域の歴史・文化を尊重したお祭りやイベントを大事にしています。白川村も観光で食べさせてもらうのであれば、なおさら文化財や文化を大切にしなければいけないのではないのでしょうか。お年寄りが元気なうちに、昔のよさを学びましょう。昔の話をたくさん聞いて次の世代へつなげましょう。忘れ去られようとしているものづくり（むしろ、オダレ、わらぞうり、ふかぐつ、へんこづくり）、ほんこさまの食事、今ならまだ間に合います。みんなで、お年寄りから学びませんか。

**比較の中から白川のよさを発見！！**・・・他地区を視察し比較することにより、白川のよさや素晴らしさを新たに発見確認することができました。貴重な視察研修に参加させていただき、故郷白川について考え発信する機会を与えていただきましたことに心より感謝申し上げます。



【佐藤さん宅にて研修の成果を語り合う】

岡本綾子さん、佐藤直子さん、橋脇和代さん、松井美子さん、松古美由貴さん、貴重なご意見ありがとうございました。井戸端会議は3時間以上に及び、私も有意義な時間を過ごさせていただきました。ただ、お話は膨大な量となり、紙面の都合上全てを掲載できませんでしたことをお許しください。

(文責：和田正人)

## = 6月の活動報告 =

- 6月 7日 守る会役員会(4名)
- 6月 8日 守る会定例会(15名)  
休耕田田植え(1名)
- 6月17日 JNT特別フォーラム参加(会長)
- 6月18日 荻町交通規制(2名)
- 7月2~3日 自治保存会育成事業視察研修  
(美山町・長浜市市 19名)

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会(毎月10日前後)の2週間前までに財団又は各組代表の委員に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いします。

## 7月の協議事項(現状変更申請に関わって)

- \*\*\*\*\* . . . . . 車庫の屋根の葺き替え
- \*\*\*\*\* . . . . . 自宅母屋・落屋屋根葺き替え
- \*\*\*\*\* . . . . . モルタル壁を杉板に変更・木製出窓
- \*\*\*\*\* . . . . . 合掌屋根改築・離れ屋根融雪
- 中部電力 . . . . . 電柱の設置、支線・ガード撤去、協同支線新設
- \*\*\*\*\* . . . . . 土地境界を玉石積復元
- 白川八幡神社 . . . . . 本殿屋根の葺き替え

## 守る会の活動指針(国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

指針の具現化にむけ、今後も話し合いと活動の検討を進めていきたいと考えています。皆さんのご意見を守る会委員にお寄せください。



# 自治保存会育成事業視察研修参加報告書

7月2日(日)～3日(月)、財団主催の上記研修ということで、京都府南丹市美山町、滋賀県長浜市に行ってきました。

美山の茅葺き集落は現在50戸の集落で、住宅32棟(5棟は鉄板覆い)、民族資料館や店舗など6棟の、合計38棟が茅葺き屋根の建築です。集落としての規模は、荻町、福島県下郷町大内宿に次いでとなっております。1993(平成5)年12月に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けました。この地区の茅葺き屋根は入母屋造りで、千木、破風等の構造美に優れ、山村民家としての特質を有することから「北山型」と称されています。民族資料館は5間×6間の規模でしたが、それくらいの規模が多いようです。

屋根の葺き方としては、カケヤを使って締めることはないそうです。いわゆる『クダリ』も『ヤナカ』の内側にあり、材質は竹を使っています。また、『スノコ』を敷くことなく茅を当てています。棟の部分には『うまのり』という、言ってみれば鞍みみたいなものを置いて押さえにしています。

地区では「かやぶきの里保存会」を組織し、公民館・農事組合・かやぶき屋根保存組合などと連携し、歴史的景観の保全と地区住民の生活の維持が両立し、後継者が育つ方向を目指した結果「有限会社かやぶきの里」を設立し、来訪される方々にくつろぎと感動の場を提供しようと食堂、土産物、民宿などを経営しています。

防災施設工事に関しては、貯水槽997㎡、放水銃62基を整備しております。これは最新式というか、スイッチ一つで下からせり上がり、屋根を持ち上げ放水を開始できるようになったものです。これは実際に操作するのは年配者が多く、なるべく無理のかからないように、との配慮もなされています。年に2回、5月と11月に一斉放水、点検をしています。地域の課題としては、住民の意識向上と修理業者への意識向上。他の地区の茅葺き屋根の減少。茅の確保の問題。各組織の事業執行の調整。等があるとのことでした。

長浜の黒壁は、文明開化のシンボルとして市民に親しまれていた黒壁銀行が取り壊されそうになったのを契機に、市民有志が出資して第三セクターを設立してガラスの館として再生されました。修復



と復元を進める中で、郊外型大型店舗の進出により、中心商店街の沈滞と低迷からの脱出と活性化の起爆剤となるべく、既存企業を圧迫することのない、長浜から全国へ情報発信できる事業を目指し、住み分けのできる町として、建物・風情を含めた『歴史性』、祭りを含めた『文化芸術性』、世界を視野に入れた『国際性』のコンセプトを内在した事業を探し続けるとのことです。現在28号館まであり、2004（平成16）年度で204万人の来街者を迎え、街の求心力を高め、理念の拡大と充実が『ガラス工芸とまちづくりを融合させて総合文化サービス業』を創生させています。

最後に、1日目の視察地である美山町の『北村かやぶきの里憲章』を参考資料として添付し、報告いたします。

（大泉信吾）



#### [ 参考資料 ]

### 北村かやぶきの里憲章

私たちは、祖先から受け継いだ伝統的建造物群と美しい自然環境を誇り、そして、それを守り、活力あるものとして後世へ引き継ぐためにこの憲章を定めます。

私たちは、茅葺きが散在する、日本の農村の原風景である集落景観の維持保全につとめます。

私たちは、静けさ、秩序ある落ち着き、善良な風俗を守ります。

私たちは、集落の歴史や文化を理解し、教養を高め、自らの資質向上をはかります。

私たちは、一人ひとりが気持ちを一つにして、訪れる人に村の心を伝えます。

私たちは、集落の特性を生かし、私たち自身の手で集落の発展向上をはかります。

保全優先の基本理念

一、『売らない』集落の土地や家を売ったり、無秩序に貸したりしない。

二、『汚さない』家の周り、畑など集落全体を汚さない。

三、『乱さない』集落の道路、山、家などの美観や集落の風紀を乱さない。

四、『壊さない』重要伝統的建造物群に選定された集落景観や美しい自然環境を壊さない。

五、『守る』店が立ち並ぶ観光地にせず、集落景観を現状のままで守る。

六、『生かす』茅葺きの散在する集落景観を経済活動や村おこしに生かす。

平成十一年二月一日

北村かやぶきの里保存会